

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第213号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年6月30日 00時02分ごろ	
発生場所	山口県 祝島南西岸 ホウジロ灯台から真方位308° 6,500m付近 (概位 北緯33° 47.4' 東経131° 57.5')	
事故等調査の経過	平成21年7月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 神洋丸、147トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 127928、渡辺海運株式会社 濱口海運株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長 四級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	凹損を伴う擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、中和滓約530トン積載し、山口県天田島沖を約9ノットの速力で航行中、前路に反航船を認め、同船との通過距離を保つために右転を始めたところブラックアウトが発生した。船長は、左舷後方の同航船から探照灯を照射されて気が動転し、約5分後にブラックアウトが復旧してからも右転を続け、平成21年6月30日00時02分ごろ、祝島南西岸に乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 小雨、風 ほとんどなし、視程 約1海里</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、海上 平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>船長は、ブラックアウトが発生したこと、後続の同航船に探照灯を照射されたことにより気が動転し、ブラックアウトが復旧した後も右転を続けたことから、祝島南西岸に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が天田島沖を航行中、反航船との通過距離を保つよう右転したところブラックアウトが発生したが、ブラックアウトが復旧した後も船長が右転を続けたため、祝島南西岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p> <p>船長が右転を続けたのは、ブラックアウトが発生したこと、後続の同航船に探照灯を照射されたことにより気が動転したことによるものと考えられる。</p>	